

はあとほっとステーションしまだ

2009.9
Vol.54



島田病院

「日本の医療保険制度 問題点と今後」

奈良県の某病院の理事長と事務長が、生活保護を受給する入院患者に心臓カテーテル手術をしたように装い、診療報酬約170万円をだまし取ったとして、7月初め、詐欺の疑いで県警に逮捕されました。この事件を各メディアは「診療報酬不正受給事件」と報道しています。

この事件は、狭くなった血管に、血管内を誘導してパイプのような「ステント」と呼ばれる金属器具を挿入し、血管を拡張させる「心臓カテーテル手術」という技術の「意図的な誤用」つまり「悪用」です。生活保護を受給する入院患者2人に対して、実際は行っていない手術を行ったように装って診療報酬を請求したことが違法と起訴されました。

してもいい検査や手術をしたように偽り、診療報酬を請求する不正請求という行為は、医療関係者の一人として許せないのですが、金に目がくらんだ悪人の仕業と分からないでもありません。しかし、医師として、より許し難い気持ちになるのは、必要ではない検査や処置を生活保護受給者といういわば社会的弱者を選択して実行したことです。彼らは、入院患者の中から「元気な」対象者を選び、毎月ノルマを設定して、検査や処置に励んでいたといえます。詐欺は理解できても、必要でない検査や処置を医学的な判断ではなく、純粋に儲けのために行うことができる倫理観のなさに、医師に対する社会的な評価が下がるのも仕方ないと、あきらめの気分すら浮かびます。

日本は、1961(昭和36)年に国民皆保険が達成されて以来、すべての国民が何らかの健康保険でカバーされるようになり、医療を受ける上で、世界でもっとも平等な制度を実現している国です。国民は医療機関を受診する際、被保険者として、保険者から発行された被保険者証を保険指定された医療機関等に提示し、保険医の指定を受けた医師や歯科医師の「保険診療」を受けることとなります。医療が必要な状態とは認められない歯列矯正や美容整形などは、保険診療の対象外となり、全額自費負担が求められます。これは「自由診療」と言い、「保険診療」と区別されています。一連の医療行為の中で、「保険診療」と「自由診療」を混在して実施することは、「混合診療」と呼ばれて、一部の例外を除いて認められていません。

保険医療では、保険料を支払っている被保険者が、認可された保険医療機関にて保険医を受診し、担当の保険医が「療養担当規則」に基づいて診療を行えば、患者である被保険者に対する「健康保険法」に基づく療養の給付を受けます。「保険診療」による医療行為は、一つ一つに値段が付けられ、「診療報酬点数表」に細かく記載されています。その表に従って計算した医療費のうち、治療を受けた患者は、定められた割合で診療報酬の一部を自分の財布から支払います。残りの医療費は、医療機関が保険者に請求する診療報酬明細書(レセプト)に従い、最終的には保険者から医療機関へ支払われますが、「審査支払い機関」での審査が必要です。病名に対して、医療行為が保険診療の適用から外れるものや、通常よりも多い薬や検査、そして、不必要な検査や処置がないか審査し、対象外と判断されると、支払いを拒否されます。この場合、保険医療機関は再審査を要求することができます。正当な理由があると認められれば、復点されることもあります。同時に、保険者も、審査機関に支払いについての再審査を求めることもできます。この場合は払いすぎないように、厳しい審査を要求する立場です。つまり、保険医療機関は審査機関を通して請求を起し、再び、審査機関を経由して、請求から数ヶ月遅れて報酬の振り込みがあるということになります。

今回の奈良の事件は、通常の保険診療が適用されない生活保護受給者

に対する診療で起こりました。生活保護における医療補助では、原則的に医療保険の診療と同じ内容の給付が保障されています。医療費のほか、交通費、眼鏡やコルセット等が対象となります。受診は生活保護法の「指定医療機関」に限られ、「保険証」の代わりに福祉事務所が発行する「医療券」が必要です。福祉事務所が交付する「医療要否意見書」に、医師が病名や治療見込み期間を記入し、必要な期間の医療券が発行されます。意見書に記載する医師の判断に行政が異論を差し挟む余地がないことが、今回の事件の特殊なところで、実施された医療行為の審査の機会はありません。医師の良心というか、倫理観に委ねられた制度であるにもかかわらず、それを逆手に取り金儲けの手段とした悪質な行為です。

柔道整復師の中にも、こうした不正を行う人がおり、真面目に業務に取り組む同業者の嘆きを誘っています。同じく奈良県での出来事です。ある大学野球部の指導者が、自身の関係する整骨院に有利となるよう、不正の片棒を担ぐよう部員に要請(強制)したのです。

整骨院と整形外科は混同されることがありますが、全く違います。整骨院が開業できるのは国家資格の柔道整復師で、医師ではありません。整骨院での治療は施術と呼ばれ、単純な骨折、脱臼、打撲、捻挫の四つの外傷を対象として行うもので、骨折・脱臼は応急の場合を除き、医師の同意が必要で、つまり、加齢による疾患は対象外です。また、保険診療の請求方式とは異なり、「受領委任払い制度」が用いられています。これは、施術を受けた患者は、自分の負担分だけを支払い、残りの請求を柔道整復師に委任する方式です。柔道整復師は患者に代わって、「療養費支給申請」(これもレセプトです)を作成し、請求します。患者が行う署名は、民法上の委任を書面化したものに相当します。

このシステムを悪用し、患者の署名を集めて、不正に請求したのが先の事件です。昨今、急速に整骨院が増えています。その存在意義を否定するものではありませんが、どのような状態に対して、どこまでの責任を持って治療に当たるか、もう少し明確にする必要があるのではないかと考えています。それは、医師でも同様で、標準科目は専門医資格に従い、厳格に運用するべきかもしれません。

鍼灸・マッサージも健康保険で治療を受けられるのですが、施術に関しては医師からの診断結果を記載した同意書が必要となります。認められる施術期間は3カ月です。しかし、実際には、先の柔道整復における対象疾患と同じように、その規則が厳格に守られているとは思えません。

日本の健康保険は疾病に対する保険です。何か困った事態になったときのセーフティネットでもあります。集められた保険料の使い道は、公正で平等を期することは大切な原則です。受給を受ける利用者も、治療者も、貴重な財源の使い道にもっとお互いが厳格になるべきでしょう。

どの業界にも、どうにもならない輩がいます。しかし、彼らの存在を許す背景には、お互いの利害が一致した「持ちつ持たれつの関係」があることも否定できません。まずは、自助に務め、困ったときに互助、そして、最後に公助を頼りにするという成熟社会のあり方を追い求めなければならないと痛感しています。

島田病院 院長 島田 永和

島田病院 理念

人間愛と確かな技術に基づき
信頼でつながるチームで、安全に、
心に届くサービスを提供します

はあとふるグループ 使命

私たちは、良質の
ヘルスケアサービスを効率よく
地域の方々に提供し続けます

はあとふるグループ 理念

私たちは、その人がその人らしく
自分の人生を全うすることを
心(Heart)と技術(Hands)で支援します

秋の大型連休の診療体制

9月20日から23日までの連休中は、外来診療を行っておりません。

通常の外来診療は、9月24日木曜日からとなります。

ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

診療部

食養生

食べ物のおいしい季節、秋が近づいてきました。秋に収穫される旬の野菜や果物や魚は沢山あります。ざっと挙げてみますと、サンマ、ナス、さつまいも、里芋、ぎんなん、栗、柿、米などがその代表的なものかと思えます。もちろん科学技術の発達で、一年中いつでもこれらを食べることができるようになりましたが、やはり旬の食材は一段とおいしく感じられます。

さて、食養生のことですが、食事をさらにおいしく感じる工夫をしていただくことを提案したいと思います。それには運動(歩行・階段昇降など)をこまめにおこない、間食をなるべくせず、食事前には空腹感を感じる状態にすることです。そして食べる時もよく噛んで旬の食材に感謝してよく味わってください。もちろん食べすぎ

は禁物です。旬の食べ物には、決してサプリメントに負けない健康への有効性があると言われています。

例えば、サンマにはEPAやDHAおよびビタミンB2も含まれており、血栓および貧血の予防や脳に作用して学習能力を高める作用(ぼけ防止)があると報告されています。さつまいもにもビタミンC、ビタミンE、食物繊維が豊富に含まれ、消化の促進調節作用が報告されています。最近ではβカロチンやプロテアーゼ阻害物質による発癌抑制作用も報告されています。

このように、秋の食材は薬剤に負けにくいぐらい長寿の薬理作用を有しているとも考えられます。自然の恵みをぜひ健康に活かしていきましょう。

内科医長 植田秀樹

皆様のご参加を、
お待ちしております。

ヴィゴラス教室の案内

バレーボール教室

～ケガをせずにバレーボールを楽しもう～

皆さんがバレーボールを行う中でもっとも大切に思っていることは何でしょうか？ チームが勝利すること！ 強いスパイクが打てること！ これらも大切ですが、やはり大きなケガをして、生活に支障がないこと、そして長くバレーボールを楽しむ事ではないでしょうか？ そこで今回はバレーボールの障害の中で最も重大と言っても良い、膝の靭帯損傷の予防に焦点をあててお話をしたいと思います。

日程：平成21年9月24日(木)

時間：14:00～15:30(90分)

受付：13:30～14:00

場所：悠々亭6階 大会議室

内容：講義／前十字靭帯損傷の予防方法
実技／ケガしない体の使い方

対象者：ママさん選手・および指導者
(一般・学生も可)

費用：1500円(税込み)

講師：理学療法士 大嶺 俊充

定員：先着20名(完全予約制)

※お申し込みが2名以下の場合は、中止とさせていただきます。

持ち物：動きやすい服装と練習時履いているシューズ

予約方法：①はびきのヴィゴラスに直接お申し込み

②電話またはFAXにてお申し込み

③リハビリに通院されている方はリハビリ担当
にご相談ください

※お問合わせは島田病院地下1階
はびきのヴィゴラスまで

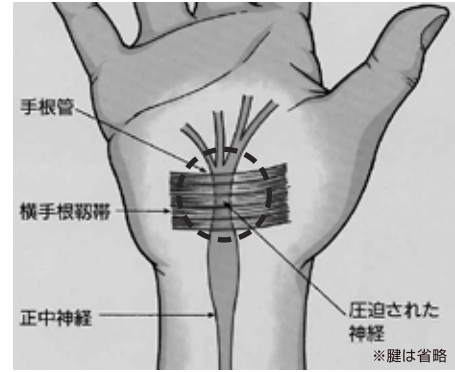
TEL/FAX 072-953-1007

E-mail vigorous@heartful-health.or.jp

手根管症候群のリハビリテーション

手根管とは

手根管は、手首の手のひら側にあり、骨や靭帯で囲まれた親指ほどの太さの狭いトンネルです。このトンネルを「正中神経」と呼ばれる神経と、指を曲げる腱が通っています。



症状

親指、人差し指・中指などのシビレや痛み、親指の筋力低下などがあります。シビレは、明け方に起こることが多いですが、使わないで休めていても、逆に、手作業をしていても起こる場合があります。

原因

同じ動作の繰り返し、妊娠によるむくみ、骨折や腫瘍(しゅりょう)による手根管内の圧迫により起こります。痛みやシビレの症状は、手を振ったり指を動かすことで一時的に良くなる場合がありますが、これは、手根管内で傷んだ神経が、動かすことで循環が良くなったり、圧迫が一時的に軽減するためです。

治療

一般的には装具などでの固定がよいとされていますが、日常生活ではしびれを気にせず、積極的に使うことが大切です。また、手根管内を腱が通るので、その筋肉の柔軟や運動などが有効です。その他、内服やステロイド注射を併用する場合があります。

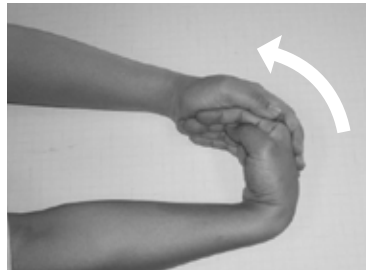
運動療法

①手首のストレッチ

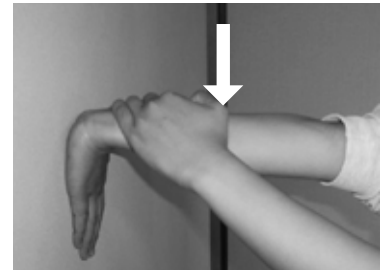
腕を肩の高さに上げて各動作を10秒ほど保持する(3セット)



親指を中にして握り、
手首を小指側へ曲げる



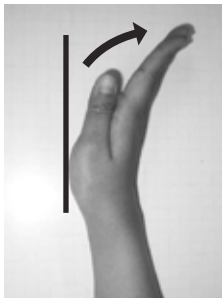
手首と指を曲げ、
反対の手で手前に引く



手首を反らして壁に固定し、
反対の手で上から押す

②腱のグライディングエクササイズ

手首・指をまっすぐに伸ばした状態(基本姿勢)から開始して、
以下の5つの姿勢を7秒ずつ保持する(5セット)



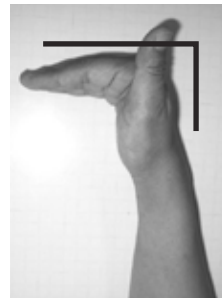
指をしっかり反る



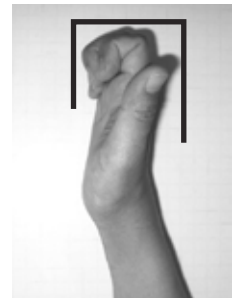
指を曲げて拳をつくる



第1関節を伸ばして拳をつくる



第1・第2関節は伸ばし、
第3関節を曲げる



第3関節は伸ばしたまま、
第1・第2関節を曲げる

日常生活での工夫(例)

- ・包丁やフライパンなどを使う時は両手で操作する(持ち手を太くして握りやすくする)
- ・パソコンのキーボードを打つ時は、手首の下に丸めたタオルなどを敷き、手首をまっすぐに保つ
- ・タオルを絞る時は、タオルの片方を蛇口からためて、別の片方を両手を使って絞る



疲労回復に役立つ食事

皆様は、日々のトレーニング後の疲労を、翌日に持ち越してはいませんか？
パフォーマンス向上のためには、トレーニングによる疲労を早めに回復することが大切です。
そこで、今回は、疲労回復に役立つ食事をご紹介します。

トレーニング
終了

トレーニング終了後には、糖質とクエン酸

トレーニング終了後30分以内に、まず、体を動かすエネルギーのもととなる糖質（ブドウ糖）を補給しましょう。おにぎりやカステラ、中華まんがおすすめです。加えて、クエン酸を多く含む、柑橘類果汁100%ジュースや蜂蜜入りレモン水、梅干しが良いでしょう。クエン酸は、疲労物質である乳酸を分解したり、体を弱アルカリ性に保つことで自然治癒力や抵抗力を強めてくれる働きがあり、疲労回復に役立ってくれます。

しかし、これらの補食をとりすぎてしまうと、後の食事が十分に食べられなくなるため、とりすぎには要注意です。

30分後

栄養バランスのとれた食事を！

疲労回復のための、食事の基本はトレーニング終了後2時間以内に、栄養バランスよく食べることです。

主 食・・・ごはんやパン、麺類（エネルギー補給）
メイン料理・・・肉や魚、卵、豆類（損傷した筋肉を修復させる）
副 菜・・・野菜（ストレスによる疲れにビタミン補給）

これに果物・乳製品をとれば、栄養バランスは整うでしょう。簡単にとれるインスタント食品ばかり食べていると、栄養バランスが偏ってしまう恐れがあります。

疲労回復のカギとなる食品

これらの食品を意識すると、さらに疲労回復に効果的でしょう。

- ①糖質の代謝を助けるビタミンB1が豊富な食材
豚肉・ハム・たらこ・うなぎ・大豆・玄米・発芽米、そば、ライ麦パン、玄米フレーク、ごま、ピーナッツなど
- ②ビタミンB1の代謝を助けるアリシンが豊富な食材
ネギ・ニラ・ニンニクなど
- ③抗酸化作用で疲労を和らげるビタミンCが豊富な食材
レモン・苺・キウイフルーツ・ブロッコリー・じゃが芋など
- ④エネルギー代謝を助けるマグネシウムが豊富な食材
大豆・油揚げ・豆腐・納豆・ホタテ・カツオ・アジなど



疲労回復に簡単おかず

「ニラと豚肉の卵焼き」

材料2人分 カロリー1人約222kcal

- ① ニラ1/2束は3cmの長さ、豚ももスライス50gは一口大に切る
- ② ボウルに卵を3個溶きほぐし、①のニラを入れて塩・こしょうで調味
- ③ フライパンにサラダ油大さじ1/2を熱し、①の豚ももスライスを炒める
- ④ ③に適度に火が通れば、②を一気に流し入れ、中火で卵が半熟状になるまでかき混ぜ、弱火で焼き上げ、出来上がり。

※豚肉の代わりにうなぎを、
にらの代わりにねぎを使っても、
おいしい卵焼きになります。

島田病院では、このニュース・レターが病院と患者様を結ぶコミュニケーションツールとなるよう願っています。
ぜひ、みなさまからのご意見、ご感想を館内各所に設置している「さくぞう君（ご意見箱）」までお寄せください。

医療法人(財団)
永 広 会

島田病院

〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山100-1
TEL 072-953-1001 FAX 072-953-1552

予約専用電話
TEL072-953-4891

ホームページ <http://www.heartful-health.or.jp>

病院の情報に
QRコードで
簡単アクセス

